

第2学年 音楽

1. 教科の目標

- (1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。
- (2) 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を高める。
- (3) 多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。

2. 授業計画

前 期		後 期	
月	内 容	月	内 容
4	オリエンテーション 表現（器楽）箏	10	鑑賞 オーケストラの豊かな響き 「交響曲第5番ハ短調」
5	表現（器楽）箏 表現（歌唱）「変わらないもの」	11	表現（器楽）アルトリコーダー
6	表現（歌唱）「変わらないもの」 鑑賞 曲の構成「小フーガト短調」	12	鑑賞 郷土の音楽や芸能
7	鑑賞 曲の構成「小フーガト短調」 表現（歌唱）合唱曲	1	表現（歌唱）混声合唱
8	表現（歌唱）合唱曲	2	表現（歌唱）混声合唱
9	表現（歌唱）合唱曲	3	表現（歌唱）混声合唱

3. 評価の観点（目標）と方法

- 知識・技能……………曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。（表現・鑑賞）
創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け歌唱、器楽、創作の活動で表している。（表現）
- 思考・判断・表現……………音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。（表現・鑑賞）
- 主体的に学習に取り組む態度……………音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。（表現・鑑賞）

評価の観点	方法（評価の資料となるもの）
知識・技能	プリントの記述、鑑賞レポート、実技テスト
思考・判断・表現	プリントの記述、鑑賞レポート、実技テスト
主体的に学習に取り組む態度	プリントの記述、実技の取り組み、授業中の発言や様子

4. 学習の進め方

- 持ち物について……………以下の物は、すべて音楽室のロッカーに保管します。練習やテスト勉強のために持ち帰りたい時は必ず事前に申し出てください。

教科書 ファイル アルトリコーダー

毎時間、机の上に準備しておくもの 教科書、ファイル、筆記用具

●授業前の約束

- ・忘れ物をした場合は、教科担任にできるだけ早めに報告する。
- ・授業道具類の準備は休み時間のうちに済ませておく。
- ・ピアノその他音楽室の楽器や物品を使用したい時は必ず事前に申し出て許可を得る。

●授業中の約束

- ・話を聞く時は手を置き、しっかりと前を向く。
- ・自分の好き嫌いを態度に出さず、活動に積極的に取り組む。